


教科	音楽	単元名	せんりつのとくちょうを感じ取る
----	----	-----	-----------------

本時で育む主な情報活用能力

C-STEP 2, E-STEP 2

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

・旋律と伴奏の特徴に注目し、曲や演奏のよさについて考える。また自分の考えたことを人に伝える。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ミライシードもしくは Teams を使用して児童の意見を集約し、共有することができる。
- ・イヤホンを使用し個人の端末で鑑賞曲を聴くことで、自分が気になる箇所を繰り返し何度も聴き、考えることができる。
- ・イヤホンを使用し個人の端末で伴奏を聴きながら個人練習をすることで、自分の苦手な箇所を繰り返し練習することができる。

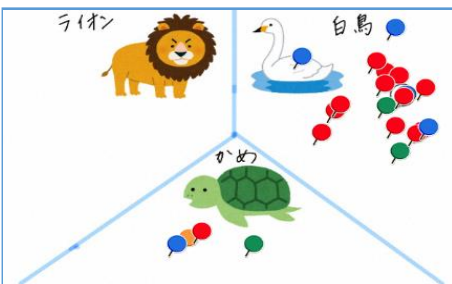
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・イヤホン ・ミライシード(オクリンク・ムーブノート) ・Teams

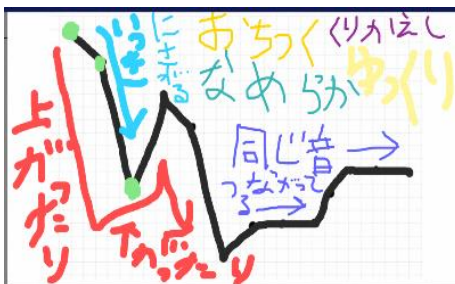
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○「白鳥」を聴く。 ○「どんな動物の曲だと思う？」という発問に対する答えを集約し、それを見ながら交流をして曲について考える。 【写真1】	○各自の意見をオクリンクで集約し、共有することができる。
展開 (25分)	○旋律を聴きながら点と点をむすび図形楽譜を描く。 ○曲の特徴を考えて、感じたことや気がついたことを図形楽譜に書き込んでいく。 【写真2】 本時のめあて：『白鳥』の紹介文を書こう。 ○イヤホンを使用し個人の端末で曲を聴きながら考え、紹介文をカードに書いて提出する。	○カードを送り、個人で音程を確認し点と点をむすんでいく。 ○各自の意見を、オクリンクの Live モニタリングや提出ボックスで共有することで、自分の考えを深めることができる。 ○音源は教科書の二次元コードを活用し、児童が自分で聴きたい部分を選びながら聴いて考えることができる。
まとめ (10分)	○「白鳥」で学んだ旋律の特徴を確認する。 ○イヤホンを活用し、旋律の特徴を考えながら「陽気な船長」をリコーダーで演奏する。 【写真3】 ○旋律の特徴を考えながらみんなで演奏する。 ○Teams のチャットで振り返りを記入する。	○一人ひとりに音源を送ることで児童がお手本を見ながら自分のペースで練習することができる。 ○演奏をレコーダー機能で録音して、レコーダーの波形を見ながら視覚的にたしかめる。(ア はずんでいる イ なめらか) ○Teams のチャットの返信を活用することで、子どもが他者の学びを参照したり、相互評価したりすることができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】ムーブノートで個人の意見を集計し、共有する。



【写真2】音の高さをたしかめながら図形楽譜を描く。個人の意見をオクリンクで共有する。



【写真3】イヤホンを使用して、個人のペースで練習したり聴いたりする。

児童生徒の反応や変容

- ・Live モニタリングや提出ボックスで友だちと意見を共有することで、友だちの意見を途中参照することができ、自分の考えを深めることができる。
- ・鑑賞教材で考えた旋律の特徴をリコーダーの演奏にも活かすことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ミライシードを使って意見交流を行うことで、手を上げて意見を伝えることが苦手な児童も友達の意見を参考にしながら伝えることができる。
- ・鑑賞する曲をそれぞれのタブレット端末で聴くことで、「全員で同時に」ではなく、「自分の気になったところを繰り返し」聴くことが可能となった。
- ・リコーダーの演奏では、レコーダー機能で録音することで音の波形を目で確認でき、曲の特徴を視覚的にも捉えることができる。また、前回の演奏との比較も容易であるため、課題やポイントを意識して、よりよい演奏になるように繰り返し練習することができる。